

524. 幾何學雜話

松村 宗治 (台北大)

(I) R_n 内ノ球 \mathcal{S} , \mathcal{Y} ヲ考ヘテ

$$\begin{aligned} z &= x + iy, & (i = \sqrt{-1}) \\ \bar{z} &= x - iy \end{aligned}$$

ト置ケバ \mathcal{S} , \mathcal{Y} ガ垂直 = 相交ハルナラバ

$$\begin{aligned} (z\bar{z}) &= (x\bar{x}) - (y\bar{y}) + 2i(x\bar{y}) \\ &= 0 \end{aligned}$$

トスルコトが出来ル。尚亦

$$(z\bar{z}) = (x\bar{x}) + (y\bar{y}) = 2$$

デアルカラ前 = モノバタ様 = z, \bar{z} ハ R_n 内ノ二点デアリ其ノ距離ハ $\sqrt{2}$ = 等シイ。

サテ、コレ等ハ皆一ツノ媒介変数 t ノ函数デアルトセバ

$$(1) \begin{cases} z(t) = x(t) + iy(t), \\ \bar{z}(t) = x(t) - iy(t) \end{cases}$$

トナル。 $z(t), \bar{z}(t)$ ハ R_n 内ノニツノ曲線デアツテ其ノ對
應点ヲ連結スル線分ノ長サハ常ニ上述ノ通りナル。

亦表面ノ場合ニハ t ノ代リニニツノ媒介変數 u, v ヲ
オキ

$$(2) \begin{cases} z(u, v) = x(u, v) + iy(u, v), \\ \bar{z}(u, v) = x(u, v) - iy(u, v) \end{cases}$$

デアツテ同様ノコトガ此ノ場合ニイヘル。

(1) 或ハ (2) ノ左辺ハ普通ノ微分幾何ニ於ケル諸公式ニ
テハマルカラ、從ツテ其レ等右辺ニツイテノ公式ヲ求メ得ベ
シ。

(II) *Indian Math. Society, Vol 11 (1936),*
p. 96 = 於ケル *Rose, R. C.* ノ卵形線 = 外接スル正凸多角
形ノ數 = ツイテノ定理ヲバ台北帝大理農學部紀要第十五卷第
九号 p. 205 = 於ケル拙著所論ノ様ニ

$$U(\phi) - U\left(\phi + \frac{2\pi}{n}\right)$$

ノ *Graph* ヲ考ヘテ証明スルコトモ出來ルト思フ。

但シ

$$U(\phi) = \sum_{k=0}^{n-1} p\left(\phi + \frac{2k\pi}{n}\right)$$

デアル。

(III) *Math. Z. Bd. 41, p. 717* = 於ケル *Doetsch*

ノ論文デ、CFヲFノ方ニ延長シ $\triangle OPC$ ヲツクリ $\angle COP = \mathbb{R}$ ナリトスルトキハ OPノ長サハ $r(\alpha) \cot(\alpha - \varphi) =$ 等シク OPガ首線トナス角ハ $\alpha - \frac{\pi}{2} =$ 等シイ。

ソコデ

$$\frac{d \overline{OP}}{d\alpha}$$

ヲ求メルト

$$\frac{r'(\alpha) \cos(\alpha - \varphi) \sin(\alpha - \varphi) + r(\alpha) \left(\frac{d\varphi}{d\alpha} - 1 \right)}{\sin^2(\alpha - \varphi)}$$

トナル、即チコレハ

$$r(\alpha) + \frac{r(\alpha) \left(\frac{d\varphi}{d\alpha} - 1 \right)}{\sin^2(\alpha - \varphi)}$$

等シイ。デアレカラ OPノ長サガ極値ヲ有スル場合ニハ

$$\frac{d\varphi}{d\alpha} = \cos^2(\alpha - \varphi)$$

デアレコトガ分ル。

Williamson: *Differential Calculus*, p. 228

ニヨレバ Pedal Curve へノ切線へ原点カヲ下シタ垂直距離ヲ p' トスル

$$r p' = h^2$$

デアリ、且ツ

$$\frac{r'(\alpha)}{r(\alpha)} = \frac{h'(\varphi)}{h(\varphi)}$$

が成立ツ (記號ハ Daetsch ノ 論文參照) が故 = 最後ノ
 二式ヨリ

$$\frac{p'^2}{p} = \frac{k'^2}{p'}$$

が成リ立ツ。從ツテ $p' = \frac{k'^2 p}{p'^2}$ が成立ツコト = ナル。

尚 Annals of Math. 22, p. 215 = 於ケル 林總一
 先生ノ 御著論文 カテテ 次ノコトガ 分ル。

$$R = p, \quad P = \frac{p^2}{(p^2 + p'^2)^{\frac{1}{2}}}$$

$$\frac{dP}{dR} = \frac{pp'}{(p^2 + p'^2)^{\frac{1}{2}}}$$

コト = 小文字 ハ 卵形線 = 對スル量ヲ 大文字 ハ ソレ = 對應スル
 垂足曲線 = 對スル量デアル。

最後ノ 式ヨリ, 例ハバ

$$\frac{P'}{P} = \frac{p'}{p},$$

$$\frac{R}{P} = \frac{p}{p'}$$

ヲ得, 但シ 左右 兩邊 = 於ケル 微分ハ 同一ノ 角 = ツイテジナイ,
 尚他ノ 關係式モ得ラルルデアロウ。

(IV) 平川君カラ 唯今親切 = 彼ノ 最近ノ 論文: 相對微分
 幾何 II (輯報第十三卷)ノ 別刷ヲ 送ツテ 貰ツタ (此ノ 雜誌
 ハマダ 到達セヌ) ソレヲ 今ミテ スガ 自分ノ 思ヒウカバコトハ
 相對的 = 余ノ 以前ノ 拙文 (台北帝大理農學部 紀要第十五卷第

九号，第二百十三頁，茲ハコトヲモ私が以前述べたコトがア
ル）ヲ一般化スルコトデアル。